



## 学校教育目標

- 進んで学習する生徒
- 明るく心やさしい生徒
- 体を鍛える生徒

『蕨東のあいさつひとつで笑東に』

# 東中だより

生徒数(名)  
男子 179  
女子 163  
計 342

令和5年6月1日 第4号

Tel 048・442・5370 Fax 048・442・5377

さわやか相談室 Tel 048・445・6692

E-mail higasiyh@warabi.ne.jp



## 備える

校長 岡部 慎一

先月末には初夏を思わせる真夏日もあり、また、前日と10℃以上も気温が下がる日もありました。その暑さ・涼しさの寒暖差だけでなく、日本各地で集中豪雨や大きな地震が度々見られました。石川県、千葉県、鹿児島県などを始め、日本各地で被害が報告された先月でありました。ご親戚やご友人などが被災地におられ、心配されている方もいらっしゃると思います。被災された方々には、謹んでお見舞いを申し上げたいと思います。

本校では5/22(月)に、地震を想定した避難訓練を実施しました。昨今の災害や多発する国内の地震の情報を確認し、避難行動や災害に対する心構えなど、日頃から備えておくことの大切さを学びました。こういった機会に、非常災害に備え、考えてみることを生徒たちに話しましたので、ご家庭でも機会があれば話題にして、確認などしていただければ幸いです。

ところで、南アフリカで卓球世界選手権があり日本選手の活躍が報道されていましたが、5/18には卓球のオリンピックメダリスト、石川佳純さんの引退会見がありました。やり切った充実感や周囲への感謝を話されながら、時折涙ぐまれているように感じる場面もありながら、そのやりとりから、終始素晴らしい方だなと思いながら見ていました。ご覧になった方も多いかもかもしれませんが私が印象に残った2つは、子供たちにも参考になると思い右にお伝えしたいと思います。

本校運動部の生徒たちも、学校総合体育大会二市予選等が今月8日(木)から始まります。大会に備え、各部熱心に活動しています。日頃の練習の成果を発揮し、悔いの残らないよう臨んで欲しいです。毎年伝えている「練習は試合のように、試合は練習のように。」という言葉もあります。実戦を想定して、技術、体力、気力を充実させるとともに、チームワークを大切にしながら、個々の力が発揮されることを期待しています。子供たちが、今自分のすべきことに向き合い、本番などに備え、準備したことに取り組むことで、必要な時に、自分の出せる力を発揮して、成長していつてくれることを願い、今後も応援していきたいと思ひます。

### 【5/18 会見より引用 Q 記者の質問 A 石川さんの回答】

- Q 苦しい時期、そこから一步踏み出す力とは何でしたか？  
A 頑張っで努力をした結果、良い成績が出るという言葉がありますが、私自身は、そう思えないこともありました。頑張っでも成績が出せないことがあつて、そこからがスタートなのかなと思つた時期もあります。続けることの大切さ、どんなに失敗しても何回もチャレンジする、それが大切なのかなと思ひながら活動してきました。
- Q 子供たちへのメッセージと、そして、大切にしてきた言葉はありますか？  
A ひとつは自分の目標を見つけてほしいです。もうひとつは、才能はひとつに限らないということ。先生に言われてすぐにできる子も素晴らしいし、それをできるまでやるといふのも才能なので、やってみて向いてないと思つたとしても、自分が好きな限りはできるだけ続けてほしいし、チャレンジしてほしい。自分自身が大切にしてきたことは、目の前のことにひとつずつ真剣に誠実に向き合うこと。目の前のことを全力でやつていくことで、良い結果や良いきっかけにつながっていくと思ひます。